

2021年1月の第1、第3土曜日の午前診から、「膝関節・スポーツ整形外来」を開始いたします。
 スポーツ外傷・障害や変形性膝関節症など膝関節を中心に下肢全般の専門診療を行ないます。
 膝の痛みでお悩みごとがありましたら、ぜひ外来にてご相談ください。

「膝関節・スポーツ整形外来」の医師の紹介

医師名：乾 洋（いぬい ひろし）

出身大学	東京大学医学部卒業(平成13年卒)
専門分野	膝関節外科、人工関節外科
資格等	日本整形外科学会専門医、日本体育協会公認スポーツドクター
メッセージ	人工膝関節手術といえば、以前は人工膝関節全置換術(TKA)しかありませんでしたが、現在はインプラントの進歩により損傷部分だけを置換する手術(部分置換手術)も多く行っております。部分置換手術では健全な軟骨や膝関節靭帯を温存することができるので、体への手術侵襲が抑えられます。現在全置換術と部分置換術の割合はほぼ5割ずつとなっております。変形性膝関節症、膝骨壊死症、関節リウマチなどで膝痛を抱えておられる方は多くおられると思います。そういった患者さんに膝関節周囲筋力の筋力強化を行い、また膝関節注射等の保存加療を行っても症状が軽快しない場合には人工膝関節手術が有用です。近年人工膝関節手術は患者さんにあったインプラント選択、また損傷程度に合わせた部分置換術の登場などにより、患者さんの術後の機能も向上しております。膝痛でお悩みの患者さんはぜひ外来にてご相談ください。

医師名：山神 良太（やまがみ りょうた）

出身大学	東京大学医学部(平成17年卒)
専門分野	膝関節外科、人工関節外科、スポーツ整形外科
資格等	日本整形外科学会専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(JOSKAS)関節鏡認定医(膝)
メッセージ	スポーツ外傷・障害および変形性膝関節症・膝骨壊死症など膝関節の疾患・障害を専門に診療を行ってまいりました。適切な診察と診断、患者さんにとって分かりやすい説明、患者さんのニーズに合った治療方針を心がけて日々の診療にあたっております。手術としては主に膝関節鏡手術(半月板損傷、靭帯損傷、反復性膝蓋骨脱臼)および変形性膝関節症・膝骨壊死症に対する人工膝関節手術(全置換術、部分置換術)を中心に行っております。人工関節分野ではロボット手術が国内でも開始され従来の手技に比して正確なインプラント設置が目指せるようになってきています。こうした最新の技術とこれまで培ってきた技術を駆使して、より患者さんの術後機能、満足度の高い医療の提供を目指していきます。膝関節にお悩みのことがあれば、ぜひ外来にご相談ください。